

## V210b HSC 戦略枠観測データの世界公開 (パブリックリリース)

山田善彦, 田中賢幸, 高田唯史, 古澤久徳, 小池美知太郎, 峯尾聡吾, 池田浩之, 林裕輔, 大石普恵, 宮崎聡, 岩田生 (国立天文台), 他 HSC 戦略枠チーム

国立天文台では、東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構など多数の国内研究機関やプリンストン大学及び台湾と共同で、すばる望遠鏡に搭載されている超広視野主焦点カメラ Hyper Suprime-Cam (HSC) の戦略枠観測 (SSP : Subaru Strategic Program) を 2014 年 3 月より行っている。この SSP では、5 年間で合計約 300 晩を費やすことで、Wide、Deep、Ultra Deep Survey の 3 種類のレイヤーで、それぞれ 1400 平方度、28 平方度、3.5 平方度の多色測光データ (g-, r-, i-, z-, y-, and narrow-band) の取得を行う予定である。

我々 HSC データリリースチームは SSP 共同研究者向けに約半年毎にデータリリースを 5 度おこなってきた。2016 年 8 月におこなった最新の s16a リリースでは、g, r, i, z, y の 5 バンド全てのデータが目的の深さに到達してデータ解析が完了している領域が約 170 平方度を含み、世界最先端の研究成果を上げることのできるデータが揃っている。データリリースは解析済みの画像や天体カタログを含み、研究者ユーザは SQL (Structured Query Language) を用いることで種々の高度な条件で画像・天体情報を検索し研究活動を行うことができる。HSC SSP サーベイデータは、SSP 共同研究者のための一定の占有期間を経た後、全世界に無償で公開されることになっている (パブリックリリース)。2017 年 2 月の第一回目のパブリックリリースは、SSP 共同研究者向けの s15b リリース (2015 年 9 月) のデータセットを元にしており、本公演では、このパブリックリリースの概要について報告する。